

船舶事故等調査報告書

平成23年11月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011門第113号	
事故等種類	運航不能（機関損傷）	
発生日時	平成23年8月17日（水） 08時30分ごろ	
発生場所	福岡県北九州市部埼 ^{へさま} 南東方沖 部埼灯台から真方位122°4,400m付近 （概位 北緯33°56.3′ 東経131°03.8′）	
事故等調査の経過	平成23年8月18日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	プレジャーボート ^{まさお} 雅冨王Ⅱ、5トン未満	
船舶番号、船舶所有者等	280-34385福岡、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	主機直結冷却海水ポンプのインペラが破損	
事故等の経過	<p>本船は、船長1人が乗り組み、部埼南東方沖で釣り中、平成23年8月17日08時30分ごろ、船長が、釣り場を移動しようとして主機を始動した際、冷却水の高温度警報が点灯して吹鳴したので、直ちに主機を停止した。</p> <p>船長は、船底の海水吸入口を点検したところ、閉塞していなかったことから、主機直結冷却海水ポンプ（以下「海水ポンプ」という。）のゴム製のインペラが破損したものと判断し、海上保安部に救援を要請した。</p> <p>本船は、来援した巡視艇にえい航され、北九州市柄杓田漁港に帰港した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風 なし、視界 良好</p> <p>海象：海上 平穏</p>	
その他の事項	<p>海水ポンプは、インペラが破損していた。</p> <p>海水ポンプのインペラは、本船購入時に新替されたのち、約4年間使用されていた。</p> <p>主機取扱説明書には、海水ポンプのインペラを運転時間1,000時間又は使用期間1年を経過した時点で交換するよう記載されていた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>なし</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、部埼南東方沖で釣り中、釣り場を移動しようとした際、主機の海水ポンプのインペラが破損したことから、主機の運転ができなくなり、運航不能になったものと考えられる。</p> <p>海水ポンプのインペラは、材質が経年劣化して破損したものと考えられる。</p>

原因	本インシデントは、本船が、部埼南東方沖で釣り中、釣り場を移動しようとした際、海水ポンプのインペラが破損したため、主機の運転ができなくなったことにより発生したものと考えられる。
----	---